

心臓血管放射線研究会学術研究助成
学会報告記

氏名 中原 健裕
所属機関名(発表時) 群馬大学医学部付属病院 循環器内科
発表学会名 ASCI2011 (口演発表、展示発表)
学会開催年月日 2011年 6月 17日～ 19日
演題名 Can Cardiac CT evaluate Left Ventricular Diastolic Function?
Correlation of the Slope of the Time-Enhancement-Curve with the Mitral Annulus Diastolic Velocity.
優秀論文賞受賞 無 (有 the Best Young Presenter Award Session)
学会報告記(800字程度・写真1枚)

締切:2011年6月24日

◇本文

今回は心臓血管放射線研究会学術研究助成を頂きまして、誠にありがとうございました。私が発表させていただいたのは the Best Young Presenter Award Session というセッションでした。発表にあたり一番感じたことは、「日本人は真面目だな、海外は文化が違うな。」ということです。当初発表時間が6分とメールが来ていたのですが、5日ほど前に発表8分+質疑応答2分との連絡がメールであり、急遽スライドを変更しました。しかし、学会初日にスライドを提出した際に、発表5分+質疑応答2分の間違えであったと説明を受けました。さらにスライドの変更をしたのですが、内容に対して発表時間が短すぎるのもう一度本当に5分かを確認したところ、スタッフが電話連絡を何件かした後に事務局に連れて行かれ、「6分で質疑応答1分」と当初の予定どおりで、これまでの変更が間違えであったと説明を受けました。そのため1日目の夜、食事会でご一緒した東京医大の寺岡先生の武勇伝をもっとお聞きしたかったのですが、ホテルの部屋に戻り、スライド作りを再開しました。2日目の朝によくスライドとそれに合わせた原稿を仕上げ、出来上がったスライドを提出し、一安心しました。しかし、やはり発表直前に心配になり、「本当にスライドが新しいものにしていただけたか」とスタッフに確認したところ、スタッフ二人に「朝に出したものだろ、間違いない、安心しろ」と言われ壇上に上がりました。発表をはじめたところ、いくつか図表を削った古い版ということに気づき、一時パニックになってしまいました。ですが、そのまま進めると再追加したスライドが表示されないので、悩んだ挙句叫びました「Excuse me!!!!!!」。そのパニック状態で叫んでいる瞬間の姿を慶応大学の陣崎先生に冷静に撮影していただきました (panel A)。結局念のため USB Flash Disc に入れておいたファイルで何とか発表を済ませました。発表後、Finalist ということで、セッションの座長で、審査員のおひとりでしたらっしゃいました三重大学の佐久間先生より表彰状を頂きました (Panel B)。発表後は、慶応大学の山田先生主催ツアーに参加し、香港の観光をしました。世界三大夜景の一つ、ビクトリアピークからの夜景を堪能しました (Panel C)。今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

